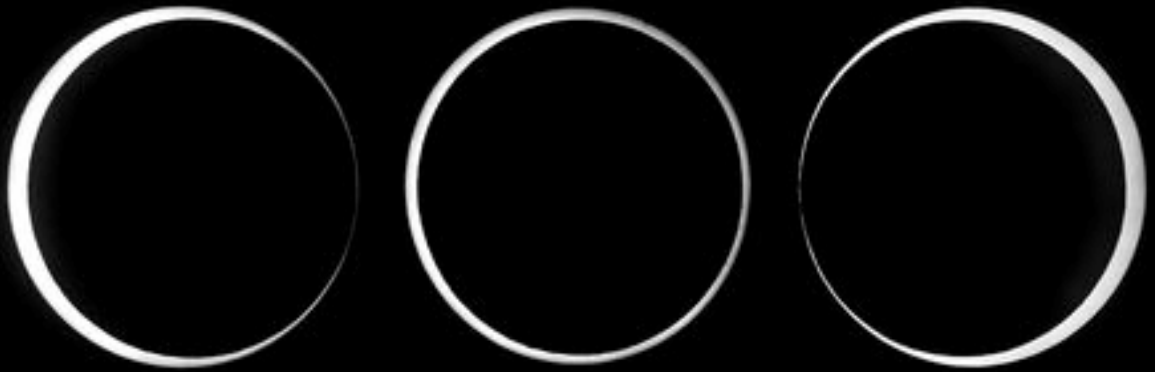


天文教育 7

2012

Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy



Annular Eclipse of 2012 May 21 NAOJ Mitaka, Tokyo, Japan

<特集> 速報・2012 年金環日食

<連載> 恒星天文学の源流／宇宙を観じる生活を！

天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクトには英文も付けてください。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで6~10ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで2~4ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください(写真のみでも構いません)。
7. **情報コーナー(各種会合・イベントの告知など)**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日(奇数月下旬)にご留意ください。

・**締め切り**は1~3は原則として奇数月末日、4~7は偶数月15日。投稿先は post@tenkyo.net です。

・**広告掲載**を希望される方は事務局 (jimu@tenkyo.net) までお申込みください。掲載料はB5判1ページ ¥20,000、半ページ ¥12,000、1/4ページ ¥7,000、チラシの折り込み ¥20,000です。

本誌に掲載された記事は、1年後以降に当会ホームページ (<http://tenkyo.net/>) にてpdfファイルの形で一般に公開することを予定しております。インターネットでの公開に差し障りのある場合はご投稿の際にその旨ご連絡ください。

【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますようお願いいたします。

- ・原稿の投稿は、原則としてMicrosoft Wordファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレートがホームページ (<http://tenkyo.net/>) からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いいたします(執筆上の留意点なども記しています)。
- ・十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Word以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net

表紙の言葉

最大規模の金環日食

撮影日:2012年5月21日、望遠鏡:高橋FC100(D=100mm, F=8)、Pentax XP14mmにて拡大(合成F=24)、バーダー・ソーラーフィルター(D=3.8)、カメラ:Canon EOS5D MkII、ISO=100、露出1/1000秒

5月21日、わが国の広い地域で金環日食が起きた。当日、関東地方は曇り空ではあったが、薄雲を通して金環日食をкаろうじて見ることが出来た。今回は、ベリーの精密観測による太陽半径の測定のために、

あえて、国立天文台三鷹の太陽フレア望遠鏡の隣に陣取った。というのも、三鷹の実験用分光器を使った金環日食でのスペクトルフラッシュの観測と同時観測を行うためであった。月が太陽を覆うにつれて、日差しが次第に弱まってきた。風景がはつきり見えているのに、なぜかNDフィルターが掛かっているような不思議な光景、どこか地球と違う惑星の上に立っている様であった。写真は、左より、金環日食開始(7時32分)、最大(7時34分)、終了(7時37分)時の金環日食の様子である。

撮影 文:大西浩次